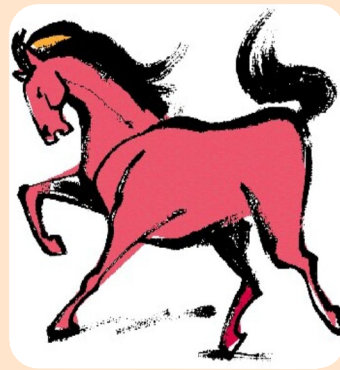


# 闘春



## 国労新潟をみなさんと共に作っていききたい

### 2014 元旦 上石執行委員長 あいさつ

組合員、そして御家族の皆様、明けましておめでとうございます。

昨年、9月の大会で委員長になって新年を迎え決意を新たにしているところです。今、日本はとても危険な方向に進もうとしています。衆院選、そして参院選に大勝した安倍首相は消費税増税の決定、TPP交渉の参加、そして秘密保護法案の強行採決と、その本性を顕にしてみました。2月には、関山演習場でオスプレイが参加する日米合同訓練、普天間基地問題、どれをとってもアメリカ言いなりの政策をこれでもかと推進しています。

特に日本の将来を左右する秘密保護法は、成立してしまいましたが、反対の立場を明確にし、あらゆる人達と連携し撤廃を求めています。

安倍首相は、日本のため、国民のためと言っていますが大うそで、それはアメリカのため、大企業・財界のためであることは明白です。安倍自民党政権とは、とことん対決していかなければなりません。

JR北海道の安全問題も重要です。「民営・分割のツケ」と一言で片付けることはできない問題です。たしかに当時から三島・貨物会社の経営は、厳しいと誰もが承知のことでした。そのため基金も思うような運用益がでず、線路、車両を修繕したくても資金がない。現場では、合理化により人もいないので修繕したくてもできない。できないばかりかデータ改ざんと悪循環になっていったと思われます。声を出せない労働者、民営・分割時、国労組合員を排除、もの言えない会社風土になっていたと思われます。

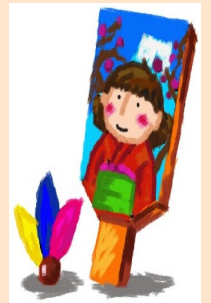
この問題は単にJR北海道だけの問題とせず、JR西日本でも福知山線の事故がありました。  
①JR貨物は経営至上主義で社員は賃金抑制政策が問題となっています。本州三社と三島・貨物会社との格差は、あまりにも大きく放置できない状況です。  
②JR各社まかせにせず民営・分割の検証をきちんとやり、国が責任を持ってかわっていくことを要求します。

①JR東日本も効率化の追求で外注化・委託の拡大、分社化等で出向者が非常に多くなっています。出向者、プロパーの労働条件も厳しい状況です。  
②いずれも安全問題に直結しており、JRグループ全体のものと受けとめなければなりません。

直江津地区では、北陸新幹線金沢開業が控えています。組合員の労働条件の確保のため、組織としてきちんと対応していきます。

最後に、私たちにとって最大の課題は「組織拡大」です。労働組合らしく、国労らしく、仲間を大切にし、何でも相談できる「国労新潟」をみなさんと共に作って行きたいと思います。そんな素晴らしい仲間をもっともっと増やしていくため、共に頑張りましょう。

NO. 807  
発行  
14・1月1日  
国鉄労働組合  
新潟地方本部  
発行責任者  
上石 昌彦  
編集責任者  
教 宣 部



# 国労新潟地本 2013年をふいかえって



2月8日に国労東日本本部拡大委員会が仙台で開催されました。



地本旗開き&組織拡大・交流会が1月19~20日湯沢で開催されました。大宮の方々と交流を深めました。



2月22日拡大地方委員会が開催されました。



富山市で3月2日並行在来線シンポが開催されました。この日は、大荒れの天候で、富山駅までかなりの時間がかかりました。大変な一日でした。



9月7日地本定期大会が開催されました。新しい執行体制が確立されました。新執行委員長に前上石副委員長が就任し、新しく執行委員に福富さんが就任しました。



4月21日ダンプトラックパレードが行われました。古町十字路では宣伝行動が展開、JAL争議団をはじめ県内の不当解雇・不当労働行為で闘っている労働組合の仲間の皆さんが訴えました



JALの全国キャラバンが日本海ルートで展開され新潟地本で最終日、9月20日新潟集会を開催しました。写真は争議団の斉藤さん・鈴木さんです。



11月23日地本退職者激励会が開催されました。2013年1年間をふいかえって、いろいろありましたので、全部は載せられませんでした。あなたにとって2013年はどうでしたか?そして2014年はどんな年にしたいでしょうか?2014年も「国鉄新潟」をお願いします